

2011年度国内研修旅行のご案内

# 山陰海岸ジオパーク「大地の公園」と歴史の島・隠岐を訪ねる

■テーマ 2010年、京都府丹後半島から兵庫県・鳥取県に連なる美しい地形や地質遺産が、ユネスコの「世界ジオパーク」に認定されました。ジオパークとは「大地の公園」という意味で、丹後の海岸から城崎、鳥取砂丘などは日本列島がどのようにつくられてきたのか、そして地形や地質遺産(ジオサイト)と人々の暮らしとの関わりなど、見聞を深めることができます。また歴史の島「隠岐諸島」は大陸との文化交流の足跡が見える拠点であり、不思議な生態や植生も見られる楽しみなスポットです！  
持続可能な地域社会をめざす山陰海岸の四つの柱 ①自然保護・環境保全②体験学習と教育 ③地質を利用した地域産業④ジオツアー について学びましょう！



■日程 平成23年 6月6日(月)～8日(水) 2泊3日 ■募集 21名 ■募集締切 5月15日  
■旅費 79,000円

1 6月6日	8:30京都駅八条口出発＝宮津天橋立IC＝12:00久美浜町昼食＝玄武洞＝香住遊覧船＝新温泉町山陰海岸ジオパーク館見学＝17:30湯村温泉(泊)「研修・講演会」	佳泉郷井つづや
2 6月7日	9:00旅館＝鳥取砂丘＝白鳳の里＝むさぼんだ遺跡＝七類港(高速船)～西郷港＝18:15隠岐 島後 西郷	隠岐プラザホテル
3 6月8日	8:40旅館＝佐々木家住宅＝白鳥海岸遊覧船＝隠岐国分寺・後醍醐天皇行在所跡＝玉若酢命神社＝西郷＝14:00隠岐空港～日本航空～16:05伊丹空港＝京都駅17:30	

■旅行社 京都府知事登録旅行業第2-25号  
ヤサカ観光(株)旅行センター 担当/九里和宏  
TEL 075-223-1451 FAX 075-221-4149

■お申込み 木下恵子  
TEL・FAX 0771-53-0701  
奥谷かをる  
TEL 075-701-8750  
FAX 075-722-7717

## 入会案内

女性関係相互のネットワークづくり  
や国際交流をすすめています。

- 1、人とのつながりを大切にします
- 2、実際に行動します
- 3、まわりの多くの人に伝えます

### 主な活動内容

- ・資質向上のための研修会
- ・国内外への研修旅行
- ・機関紙「てるびつと」の発行
- ・KYOのあけぼのフェスティバルに参画

年会費 2,000円

★国民文化祭京都2011  
2011.10.29～11.6

★KYOのあけぼのフェスティバル  
2011.11.23



発行/海外研修KYOのあけぼの会  
〒604-8006京都市中京区河原町三条上る大和学園内  
TEL 075-241-0891 FAX 075-241-0831

## 編集後記

昨年の夏は猛暑・酷暑で京都市内を取り巻く山々に「ナラ枯れ」が発生し、大被害となりました。そして、この冬、年末から降り続いた雪は豪雪となり、北山一帯の北山杉を襲いました。重い雪は杉の幹をへし折り、痛々しい姿となっています。

また、住宅の庭にまで出沒して地面を掘り返す猪や、青葉を食べ尽くす鹿の被害に呆然となります。

近年、いままで体験したことのない暑さや寒さ、大雨や大雪などゲリラ化する天候に見舞われていますが、「自然と共に生きている」ことに思いをめぐらしましょう。

私たち女性のすてきな先輩である柴田トヨさん(明治44年6月生まれ)も、いろんな体験のなかから詩を作られています。「あなたに1」という詩をご紹介します。

出来ないからって / いじけてはダメ  
私だって / 九十六年間  
出来なかった事は / 山ほどある  
父母への孝行 / 子供の教育  
数々の習い事 / でも 努力はしたのよ  
精いっぱい / ねえ それが 大事じゃないかしら  
さあ 立ちあがって / 何かをつかむのよ  
悔いを / 残さないために

飛鳥新社『くじけないで』より



表題「てるびつと」は前京都府知事荒巻禎一様の直筆で、インドネシア語(京都府友好国)で「あけぼの」の意味です。京都府の花「しだれざくら」「嵯峨菊」木「北山杉」鳥「オオミズナギドリ」を戸塚フランス刺繍で表したものです。

海外研修KYOのあけぼの会



## KYOのあけぼのフェスティバル2010に参加して

### ごあいさつ



海外研修 KYO のあけぼの会  
会長 田中 田鶴子

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃より海外研修 KYO のあけぼの会の活動にご理解とご協力を賜り心より御礼を申し上げます。

昨年はイギリス湖水地方への海外自主研修を実施いたしました。21世紀は環境保全と自然保護の世紀といわれ、日本でも自然を取り戻そうとする活動が目立って参りました。そして今年、国連の定める「国際森林年」です。その趣旨には、森林の保全とその適切な開発をするという森林経営について、あらゆるレベルでその重要性を認識し、取り組みを行うべきであるとされております。これを受けて、日本国内でも各地で様々なイベントが開催される予定と伺っております。今一度、これを機会に森林の大切さについて考えていただければと存じます。

また、昨年10月には京丹後市の山陰海岸が世界ジオパークの加盟地域に決定いたしました。「ジオパーク」とは、科学的に見て特別に重要で貴重な、あるいは美しい化石、岩石、地形、火山、断層、温泉などの地質遺産を複数含む一種の自然公園のことです。そして、ユネスコの支援により2004年に設立された世界ジオパークネットワークにより、その活動が世界各国で推進されております。今年2011年は、自分達の住む地域や都市そして国の自然について考える一年にたく、私達の自主研修でも「ジオパーク」について学ぶ場を設けたいと検討いたしております。

皆様からのご意見をお寄せいただければと存じます。

最後になりましたが、今年度の活動にどうか皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

### 環境保全の様々な取り組みを知った

梅谷 康子

1、DVD上映「時を超えて、次の世代へ〜英国湖水地方の環境保全に学ぶ〜」

DVDの美しい映像はもちろん、会員の方の流れるようなナレーションにうっとり聞きほれるほどでした。National Trust 発祥の地イギリスでは、地域に密着した保全活動が全国で行われている様子がよくわかり、「パブリック・フットパス」「持続可能な農業プロジェクト」など参考にしたい取り組みを知ることができました。

2、EFA理事長の芦田先生の講演は、難しい技術的なことも大変わかりやすくご説明いただき、日本の技術が世界でも有数の優れた技術であり、その適用範囲はきわめて広く、適材適所での利用を進めることでかなりの省資源・環境にやさしい暮らしづくりに役立つことがわかりました。さらに、生活環境に恵まれない発展途上国においても、簡単に設置・運用できる「浄水装置」や「地中熱ヒートポンプ」「小水力発電」など、魅力的な技術がいっぱいでした。

(京都商工会議所女性会)

### 五感を働かせる知恵を身につけよう

大野三恵子

「百聞は一見にしかず」という言葉があります。

「ナショナル・トラスト」という組織が、何を目的に、誰が創設し、どのように継続されているのかを学習したうえで、この研修旅行に参加させていただいたことは、私にとって大きな収穫となりました。英国コッツウォルズ、湖水地方が「ナショナル・トラスト」によって保全されている美しい姿を目の当たりにして、組織作りの大切さと継続することの偉大さを感じました。美しいものを美しいと感じる心、それを後世に残す知恵を私たちが身につけてゆきたいものです。

ワークショップでは、DVDに纏められた映像と、分かりやすい報告に感心しました。身近なところから、私たちに何がきめるのかを、考えさせられるワークショップでした。

(海外研修KYOのあけぼの会)

### 海外研のワークショップが楽しみ

山下よし子

海外研のワークショップの席にはお茶とお菓子が用意されていて一瞬心が和みました。顔見知りの人は少なかったけれど、海外研の活動に関心を持つ人が多くなったのでしょうか、どの顔も知的好奇心で輝いて見えました。穏やかに広がるみどりの丘陵、ウィングミア湖、「ピーターラビット」の絵本に描かれた世界に自分の目で見て感じたコメントと、美しい映像とやさしい語り口で素晴らしかったです。

私の地域でも、ここ2、3年鳥獣による農作物の被害は酷いものです。農家でない我が家でさえ食べ荒らされたみかんや柿の姿に泣かされています。防護柵の工夫もされていますが、急務は緑の森を作ることだと思います。山の手入れや植樹の取り組みも活発化しており、私もたまに参加して、その輪が確実に広がっていると感じています。

今回はイギリスにおける環境保護活動を伝えていただきました。「共に学び、共に行動しましょう」と活動の輪を広げておられる海外研のワークショップに出るのを、「KYOのあけぼのフェスティバル」に参加する楽しみになっています。

(海外研修KYOのあけぼの会)

### 次の世代へ引き継ぐために

滋野 裕子

DVD上映でコッツウォルズ地方では、家の石垣に使用されている石灰岩は石材や家に使用した残りの商品価値のない部分を使用していることを学び、家は個人の財産であると同時に社会全体の財産であるとの考えで、築60年から70年経過した家を購入し、手入れをしながら次に住む人に引き渡すまで守り続ける考えであることを知り、まさに環境を無駄にせず時を超えて次の世代へ引き継ぐ様を知ることが出来ました。

ナショナル・トラスト発祥の地、湖水地方では私有地でありながら公共の歩道として歩けるが、歩きながらマナーを守り、イギリスで一番美しい景色を次の世代へ引き継いでいる様にふれ、環境保護の大切さを学ぶことのできた有意義なワークショップでした。

また、芦田譲先生の講演では京都府南丹市の水車発電や、発展途上国での「小水力発電」など、簡単に設置や運用の出来る技術について興味深いお話を聞くことが出来ました。

(京都商工会議所女性会)

## 2010年度総会

日時:平成22年4月14日(水)11:00~14:30

場所:京都府国際センター

### 総会

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 来賓紹介
- 4 来賓祝辞
- 5 議長選出
- 6 議事

- ①2009年度事業・決算報告
- ②2009年度監査報告
- ③2010年度事業・予算(案)審議
- ④役員改選
- ⑤その他

<昼食 新・都ホテル内 京大和屋>



右側 長濱京都府男女共同参画監のご挨拶



研修会風景

### 次の世代へ引き継ぐために

滋野 裕子

DVD上映でコッツウォルズ地方では、家の石垣に使用されている石灰岩は石材や家に使用した残りの商品価値のない部分を使用していることを学び、家は個人の財産であると同時に社会全体の財産であるとの考えで、築60年から70年経過した家を購入し、手入れをしながら次に住む人に引き渡すまで守り続ける考えであることを知り、まさに環境を無駄にせず時を超えて次の世代へ引き継ぐ様を知ることが出来ました。

ナショナル・トラスト発祥の地、湖水地方では私有地でありながら公共の歩道として歩けるが、歩きながらマナーを守り、イギリスで一番美しい景色を次の世代へ引き継いでいる様にふれ、環境保護の大切さを学ぶことのできた有意義なワークショップでした。

また、芦田譲先生の講演では京都府南丹市の水車発電や、発展途上国での「小水力発電」など、簡単に設置や運用の出来る技術について興味深いお話を聞くことが出来ました。

(京都商工会議所女性会)

## 第22回KYOのあけぼのフェスティバル2010

# 海外研修KYOのあけぼの会ワークショッププログラム

**日時** 平成22年12月18日(土)  
13:00~15:00

**場所** 京都テルサ 視聴覚室

**参加者** 70名

**主催** 海外研修KYOのあけぼの会  
京都商工会議所女性会

- 1 開会挨拶:海外研修KYOのあけぼの会  
会長 田中 田鶴子
- 2 DVD上映  
「時を超えて次の世代へ  
～英国湖水地方の旅～」



あけぼの賞授賞式の様子



写真/左から司会・一瀬裕子 あけぼの会田中会長 商工会議所女性会岡野会長  
発表者・高木清子 福島宣子 岡崎紀枝 湯川美栄子

- 3 講演:「イギリスにおけるエコパーク構想」

講師:環境・エネルギー・農林業  
ネットワーク(EEFA)理事長  
京都大学名誉教授  
芦田 譲 先生



- 4 質疑応答
- 5 閉会挨拶:京都商工会議所女性会  
会長 岡野 路子
- 6 全員で合唱



この頁の写真は滋野裕子様にご提供いただきました。

## ごあいさつ 女性の活躍で経済・社会の活性化を



京都府府民生活部  
男女共同参画監  
長濱 英子

海外研修KYOのあけぼの会の皆様方には、日頃から、京都府の男女共同参画行政の推進はもとより、府政全般にわたり、格別のご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年、皆様方は、ナショナル・トラスト運動発祥の地イギリスの湖水地方を訪問し、「持続可能な発展」を目指す先進的かつ実践的な取組を幅広く研修され、その成果をKYOのあけぼのフェスティバルで発表していただきました。参加者の方々も大きな示唆を得られたのではないかと思います。

私たちは今、少子高齢社会の到来など、大きな時代の変化に直面しています。このような時代だからこそ、潜在的な女性の力を生かして経済・社会を活性化していくことが「持続可能な発展」に繋がります。今年3月に策定した「KYOのあけぼのプラン(第3次)」でも、女性が力を発揮できる環境の整備が重要であり、地域も家庭も職場も、男女がともに担っていけるよう、ワーク・ライフ・バランスの取組を進めることとしています。

また、今秋には、国内最大の文化祭典「国民文化祭」が京都で開催されます。今年を「京都文化年」と位置づけ、京都の多彩な「ほんまもん」の魅力を発信し、地域の文化力を向上する様々な取組が府内各地で行われますので、ぜひお楽しみ下さい。

皆様方には、今後とも、地域社会のリーダーとして、国内外の女性団体のネットワークづくりなどの活動を通じて、京都府の男女共同参画社会づくりに向け、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ・研修会の様子

春の観光客でにぎわう京都駅ビル9階の京都府国際センターにおいて32名の出席を得て開催。21年度事業及び決算報告、22年度事業計画及び予算についてご審議いただきました。

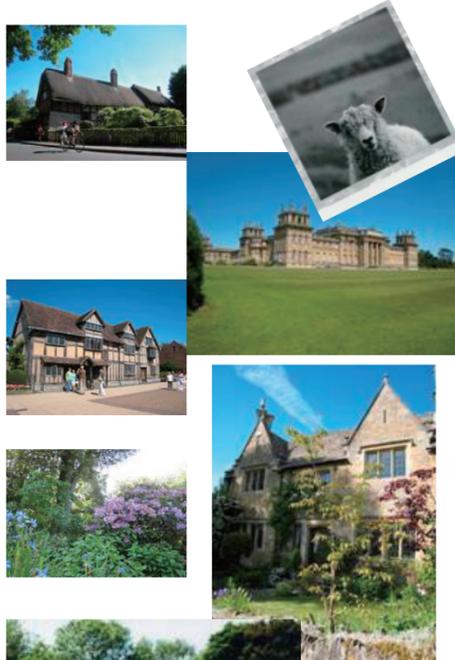
### 午後 講演「女性の生きがいづくりとナショナル・トラスト」

講師 NPO法人エイジ・コンサーン・ジャパン理事  
武庫川女子大学講師

石井直樹さん



研修会はイギリスのナショナル・トラスト活動に造詣の深い石井直樹先生のお話を聞きました。持続可能な社会にむけてイギリスではどのように取り組まれているか、その中で女性はどのように関わっているかを、DVD映像で見せていただき、海外での活動の様子を知るまたとない研修となりました。



**パート1 コッツウォルズ地方の里山保全**

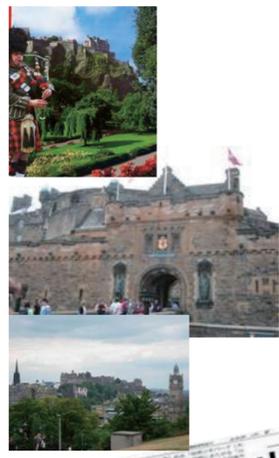
福島 宣子

- 1 私たちはロンドンからコッツウォルズ地方へ向いました。緑の牧場には羊の群れ。「古いけれど、豊かそうな蜂蜜色の石の家」が見えてきます。こぢんまりと集まる小さな村。工場も、ビニールハウスも看板も見えません。
- 2 コッツウォルズの丘は、イギリスの人々が、老後になったら暮らしたい憧れの土地であり、そして、そこは湖水地方と同じくらいたくさんのナショナル・トラストの保護資産があります。
- 3 美しい景観を作っている石灰岩は「ライム・ストーン」といい、一番良いところを「石材」として売り、次を「家用」に、商品価値のない石は「石垣」に利用します。
- 4 イギリスには「家はわが城」という考えがあり、家族構成の変化や収入の増加にあわせ、何度か買い替えをし、最後に大きな家を持つ。それも新築ではなく、築後60年～70年経過した家を購入し、手入れをしながら、その家に新しい歴史を加え、そして、次に住む人たちに引き渡すまで守っていくのです。「家は個人の財産であると同時に社会全体の財産である」という考えに触れることができました。
- 5 ここは古く大陸から渡ってきた古代ローマ人が羊を持ちこみ、羊毛産業が栄えた地域なのですが産業革命で綿製品や化学繊維があらわれ、村は寂れてしまったのです。しかし、近年になって、再び見直され、脚光を浴びるようになりました。美しい景観と恵まれた文化的要素とがマッチした村は、「心のふるさと・里山」と呼ぶにふさわしく、人びとを魅了しています。
- 6 プレナム宮殿はチャーチル元首相の生家で、世界遺産です。石作りの建物、広大な風景庭園に圧倒されました。シェイクスピアの生家は、歴史的文化遺産を守るべくしっかりと管理され、美しく整備されていました。
- 7 コッツウォルズのベニスと呼ばれる村は環境に配慮され、澄んだ川のほとりに石作りの家並みが並ぶ美しい風景を堪能しました。
- 8 英国でナショナル・トラストサポートセンターを立ち上げられた日本女性 小野まりさんから、ナショナル・トラストの誕生や百年に及ぶ活動の歴史を学びました。
- 9 ナショナル・トラスト所有のヒドコート・マナー・ガーデンやパイブリーの村、ハイグロー（チャールズ皇太子が経営されているお店）でショッピングも楽しみました。「美しい風土を保護し、さらに人々の憩いのために公開しながら次の世代に残していく」というナショナル・トラストのステータスを感じました。現在、ナショナル・トラストはチャールズ皇太子を総裁に、三人の創立者の想いを引き継ぎ、次の時代を担う子供たちに伝える努力がなされています。  
(写真上から 羊、古民家、プレナム宮殿、シェイクスピアの生家、コッツウォルズのベニスの家、ヒドコートマナーガーデン、パイブリーの村、ハイグロー、小野まりさん、NT創立者、ピートルクス・ポター)

**パート2 湖水地方のナショナル・トラストと田園地帯の保全**

岡崎 紀枝

- 10 ナショナル・トラスト発祥の地・湖水地方にやってきました。ここはイギリスで一番美しい風景



- が残っている場所で、絵本「ピーターラビット」の生みの親ビアトリクス・ポターゆかりの地です。年間1千400万人の観光客を迎えるにふさわしいフレンドリーな佇まいを感じる街でした。
- 11 湖水地方の湖は、氷河時代の氷河と火山によって、起伏のある地形ができ、堰き止められた川が湖になりました。古くから人が住み着き、西暦100年頃にローマ人が、10世紀になるとアイルランドの民族がやってきました。中世にはノルマン朝がついで、修道院が勢力を拡大していきます。地元の森から木材を切り出し、炭にし、鉄を加工し、羊を飼育し、販売しました。そのときの道や市場が、今の湖水地方の原形となりました。
  - 12 ピートルクス・ポターが守った美しい風景をご紹介します。湖水地方で一番大きな湖ウインドミア湖を遊覧船で渡り、蒸気機関車に乗り、彼女が暮らしていたヒル・トップの家を訪ねました。バラの咲く玄関をはいると、家の中は昔のままで薄暗い感じがしましたが、きっと当時の光のままなのでしょう。彼女が愛用した家具や調度品が彼女の指示のとおり飾ってありました。
  - 13 ナショナル・トラストは「歩くための環境作り」も大切にしており、「パブリック・フットパス」は 私有地でありながら公共の歩道として、川沿いの緑地や住宅地、丘まで自由に歩けるのです。たとえば、垣根の扉をあけたら、また閉めて出るというマナーを守ります。ナショナル・トラストのミズナラの葉の標識を目印に歩くことが楽しめます。
  - 14 2001年、イギリスでは口蹄疫が発生し、自殺者が出ました。このときナショナル・トラストは「持続可能な農業プロジェクト」に着手し、農村地域の自然景観と、持続可能な農業経営の両方を保護する責務を再確認しています。

**パート3 世界文化遺産 エディンバラ**

湯川美栄子

- 15 京都府と友好提携を結んでいるスコットランドの首都・エディンバラの街並みはさすが世界遺産であると感じました。切立った岩盤の山の上に立つエディンバラ城には圧倒されました。18世紀以前の旧市街と、新市街とに別れているのですが、古い建物が残され、電線や電柱がなく、建物の高さも制限され、歴史を大切に保存されているのがよくわかりました。
- 16 毎年8月になると、お城の前の大広場では「エディンバラ・フェスティバル」という世界最大の芸術祭が開催されます。私たちが訪れた6月にすでに準備が始まっており50年の歴史の深さを感じました。京都出身のツトム・ヤマシタさんも出演されたと聞いております。もう一つ、お城の中には、フィヨルドのフォース湾を航行する船に、「時」を知らせる大砲があります。今も午後1時にその時を知らせています。
- 17 また、カールトンの丘には灯台の原型も残っており、土木技術が発達していることを物語っています。明治時代の初めに日本へ灯台を作り土木技師がきています。
- 18 古い歴史を持つ国を訪ねて、「歴史は大切、引き継ごう」という観点で学ぶことができました。京都には素晴らしい歴史的な自然景観や文化財がたくさんあります。なかでも、2010年10月に丹後地方の海岸が世界的に評価され、大地の公園という意味の世界ジオパークに認定されました。また、南丹市美山町の芦生原生林を中心とした由良川と旧京北町の桂川上・中流域が国定公園の候補に選ばれました。引き続き京都に住む私たちのまわりでは、自然保護や文化財を守り伝えるために、いかにすれば良いのかの観点からと、またそれを守るための手立てとして様々な組織で様々な方法で展開されています。
- 19 京都府では、文化財を守り伝える京都府基金を定め、文化財の保存修理や保全活動のための寄付金を募っています。ちなみに平成22年4月までの寄付額は412件・2千600万円の支援があったそうです。
- 20 また、京都市でも、売上金の一部を「ナラ枯れ対策」や森林保全に活用する「寄付金付き商品」の販売を企業に呼びかけています。市内を取り囲んでいる山々のナラ枯れの被害は大きく、数億円にのぼるといふその対策費にあてられます。
- 21 現在では、日本はもとより国際的にも社会奉仕活動はじめ、環境保護、その他あらゆる活動に取り組まれている数多くの団体を知ることができます。私たちもこの研修をきっかけに、微力ではありますが「右にならえ」をして、小さな実践活動を積み上げてまいりたいと思います。  
(写真上から 研修旅行参加者、ヒルトップの家、庭、ミズナラのマーク、エディンバラ城3枚、新聞記事ジオパーク、国定公園、京都府基金 ※参加者のお名前／前列左から 高木清子 福島宣子 小野まりさん 田中会長 木下恵子 後列左から 金本順子 吉川百合子 磯部みつ江 田淵数江 小谷悦子 大野三恵子 岡崎紀枝 角川禎子 中尾久美代 湯川美栄子)